

きょうさいだより

Sasebo Kyosai Hospital Communication Paper

2010
vol.10
第4号



「キラキラフェスタ2010」 撮影：相良 利博 氏

INDEX

- ごあいさつ 院長 木寺 義郎…………… ①
- 当院と米軍診療所の交流
- 学術講演会開催報告…………… ②
- 外科副部長就任のご挨拶
- 眼科医長就任のご挨拶
- 診療活動の現況 子宮頸がんのワクチンについて …… ③
- 趣味を語る“ジャズとの出会い” …… ⑤
- 「院外の患者さんへの栄養相談」のご案内
- 地域医療連携室より…………… ⑥
- 編集後記
- 外来診療担当表…………… ⑦

患者さんの権利

1. だれもが、個人として常にその人格、価値観を尊重される権利があります。
2. だれでも、どのような病気にかかった場合でも良質な医療を公平に受ける権利があります
3. 自分が受ける治療や検査の効果や危険性、他の治療方法の有無などについて、理解できるまで説明を受ける権利があります。
4. 自分の治療計画を立てる過程に参加し、自分の意見を表明し、自ら決定する権利があります。
5. 自分が受けている医療について知る権利があります。当院の定めるところの形式に従い、カルテ開示の請求が行えます。
6. 自分の情報を承諾なくして第三者に開示されない権利があります。
7. 他の医師の意見を求めたい場合は、他の医療機関への紹介を受ける権利があります。

ごあいさつ

院長 木寺 義郎



全国の連合会病院に虎の門病院分院から、「ヒポクラテスの木」の若木が贈られることになりました。同院は連合会病院の医療従事者のために医療安全の向上を目的とした研修活動を行っており、当院も恩恵に浴しています。

「ヒポクラテスの木」とは古代ギリシャの医聖ヒポクラテスが弟子にその木の下で医学を教えたと伝えられる、エーゲ海のコス島にあるプラタナスの大樹のことです。この木の実には晩秋に数センチほどの集合果を作り、球状の集合果が柄に垂れ下がる様子が鈴を掛けたように見えるところから、スズカケノキ



九大医学部図書館前にある「ヒポクラテスの木」の集合果（平成22年10月23日撮影）

と呼ばれます。

贈られる若木は、1969年に新潟の整形外科医 蒲原宏博士がコス島の謂れの樹より集合果を採取し、日本で発芽させて作られた八株に由来します。この株の1つから育てられた木が34年前に同分院に贈られ、ここで生長した木から挿し木によって若木に育ったものです。九大医学部にも同じ木があります。当時の整形外科の天見民和教授が蒲原博士より株の1つを貰い受けて定植されたもので、今回の若木と同じDNAを有しています。

平成23年に開設百周年を迎える当院にとって、新たな歴史を刻む記念樹になるように植樹できる場所を選定したいと考えています。

当院と米軍診療所の交流

副院長 萩原 博嗣



古森研修医(左)とドイル・アリソン軍医大尉(右)、中央は患者さん

海軍とともに発展してきた佐世保市には海上自衛隊と米海軍の基地があり、当院には米海軍の診療所からの紹介が頻繁にあります。最も多いのは放射線科へのMRIの依頼で、野々下部長は毎月60件以上の英語のレポートを作成しています。そのほかにも整形外科、皮膚科、眼科、耳鼻科、泌尿器科など多彩で、米軍基地の司令官や診療所の所長さんも交代の度に訪問されるなど大変友好的な関係が続いています。

この貴重な友好関係を生かして、3年前から当院の若手医師が診療所を訪れて米国式の診療の実際を研修するという機会を作っていただいています。現在は古森、大塚の両研修医が月に2～3回の訪問研修を続けていて、国内で勤務しながら米国の生の医療の研修ができるという他では得がたい機会ですので、緊張しながらも楽しみにしているようです。

このほかにも市内のいくつかの病院と診療所スタッフの合同カンファレンスと懇親会も行われており国際都市ならではの貴重な交流の場となっています。

学術講演会の開催報告

放射線科部長 野々下 政昭

日時：平成22年10月22日（金）

会場：当院 8 階大講堂

演題：放射線治療の進歩と粒子線治療

演者：久留米大学医学部放射線医学教室

教授 早渕 尚文 先生

かつては「がん」の最善の治療=外科治療でしたが、近年のめざましい進化により、切らずに治療できる放射線治療が注目されています。

頭頸部領域の悪性腫瘍は、外見と機能の温存メリットから急速動注療法などを併用した放射線治療が選択されることが多くなっています。前立腺癌や食道癌のようにかつては手術以外には治療方法がないとされていた疾患でも、最近では放射線治療で手術と同等の成績を上げられるようになっていきます。

更にこれまで治療が困難とされてきた疾患にも治療効果が期待される「重粒子線治療」についても紹介していただきました。

当日は院内外から多数ご来場いただき、わかりやすく有意義な講演であったと好評を頂きました。



外科副部長就任のご挨拶

外科副部長 橋本 光生



略歴

- 出身地：福岡県
- 出身大学：東海大学 平成5年度卒
- 主な職歴：平成5年 久留米大学病院
平成7年 国立対馬病院
平成8年 共愛会共立病院
平成13年 済生会二日市病院

- 専門領域：消化器外科
- 在籍医局：久留米大学外科学
- 所属学会：日本外科学会、日本消化器外科学会

大学では外科 PTCD 班に所属して胆管、胆嚢に限らず腹腔内膿瘍、縫合不全等の術後合併症の管理を主に行なっておりました。3 年程前からは腹腔鏡下の結腸、上部直腸の手術を始めたところで、今後下部直腸、胃切除等にも適応を拡げていって低侵襲手術をご提供出来るようにしたいと思っております。

まだ、慣れませんが微力ながらがんばっていかうと思っておりますのでよろしくお願い致します。

眼科医長就任のご挨拶

眼科医長 原 潤



略歴

- 出身地：佐世保市
- 出身大学：福岡大学 平成15年度卒
- 主な職歴：平成15年 福岡大学病院
平成16年 華林会村上華林堂病院
平成18年 雪の聖母会聖マリア病院

- 専門領域：眼科
- 在籍医局：福岡大学医学部眼科学教室
- 所属学会：日本眼科学会

約 20 年ぶりに故郷に帰り、すっかり変わった様子に少し戸惑っていますが、故郷に貢献できる喜びを感じつつ、日々の診療に励んでいます。新研修医制度による大学医局への入局者の減少の中でも、医師二人体制で仕事が出来るということは佐世保共済病院眼科の地域における貢献度の高さの表れと思い大変やりがいを感じています。今後、他科の先生方や開業医の先生方の信頼を得られるよう努力していきたいと考えていますので宜しくお願ひ致します。

診療活動の現況 子宮頸がんのワクチンについて



「はじめに」

子宮頸がんはウイルスが原因で起こる病気であり、ワクチンで予防できることが解ってきました。現在はこのワクチンは任意接種ですが、公費で助成する動きもあります。若い女性やお母さん方から相談を受けることが多くなり、レビューという形で紹介致します。

「子宮頸がんのあらまし」

子宮頸がんは“がん”に至るまでの過程が解っており、生命にも関わるような“浸

潤がん”の前に、“軽度異形成”、“中等度異形成”、“高度異形成”、“上皮内がん”という、治療すれば完全に治る病気の段階があります。図1は長崎県の“浸潤がん”の罹患数を示したのですが、最近の20年間で微かながら増加しています。問題は若い女性で増加傾向があることです。例えば長崎県の“上皮内がん”について年齢別の罹患数を見ますと、最も多いのは30歳～40歳台ですが15歳台でも発見されています（図2）。異形成の段階を経て“上皮内がん”になりますので、15歳よりもっと若い時期にウイルスに感染していたと考えられます。

これからの妊娠に備える必要がある若い女性には、“浸潤がん”まで進展していなければ子宮頸部を円錐状に切除する治療法（円錐切除術）があります。図3には当科での円錐切除術の件数を示していますが、2000年頃より急速に増加しております。若い女性にこれらの疾患が増えていることがうかがえます。

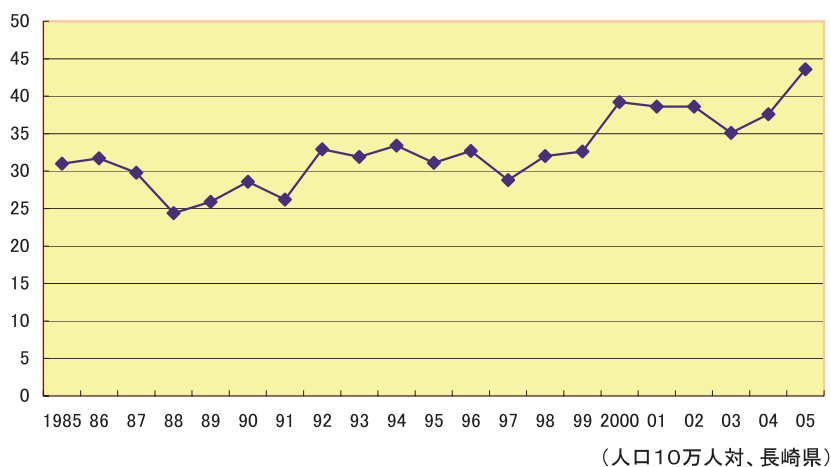


図1 長崎県の子宮頸癌の罹患率

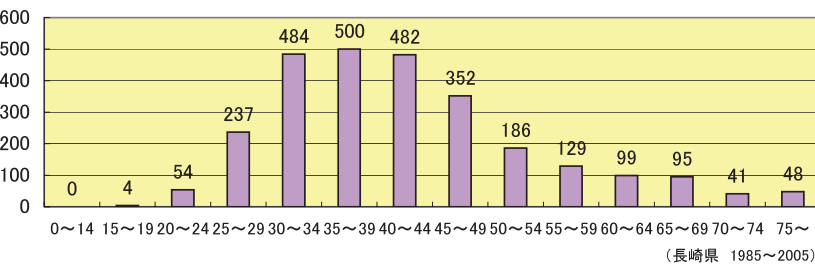


図2 長崎県の年齢別の子宮頸癌部上皮内がんの罹患数

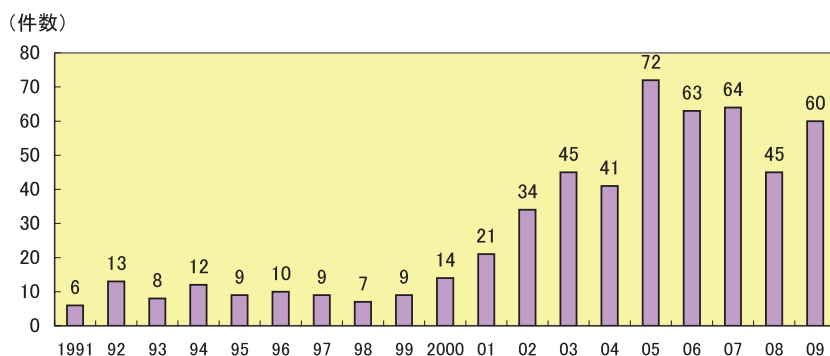


図3 当院の円錐切除術の件数

「子宮頸がんのウイルス」

子宮頸がんの原因となるウイルスは、ヒトパピローマウイルス（HPV）とよばれます。HPVは現在までに100タイプ以上が同定されていますが、頸がんに関係するHPVは16、18、31、33、35、45、52など17のタイプです。子宮頸部にウイルスが感染しても9割の人は一過性の感染で済みます。残りの約1割の人で感染が持続し、

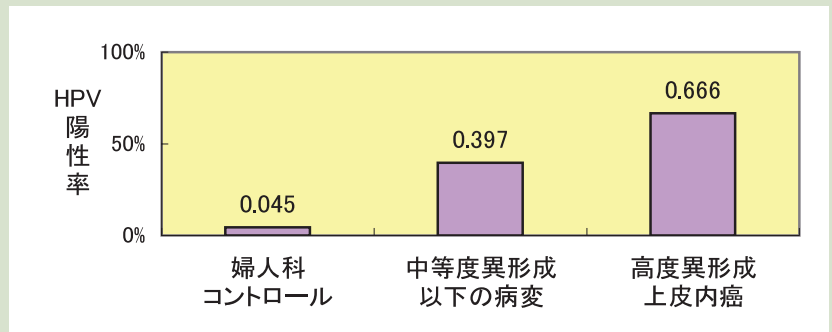


図4 当院の組織型別のHPV陽性率（1991年）

さらにその1部の人数年から十数年後に発病します。とくに日本に多い16、18タイプはがん化を起こす力が強く、“浸潤がん”では6割以上にこのタイプの感染が見られています。

当科でも20年前に異形成以上の人を対象に16、18タイプを含めた7つのタイプのHPV感染状況を調べたことがあります（図4）。その結果は病気が進行するほど感染している率が高くなり、全体では6割の感染率でした。最新の研究では9割以上と報告されており当科の成績とは乖離していますが、検出したウイルスタイプの数の違いや20年間にHPVによる発病が増えたことなどが原因として考えられます。

「ワクチンの有用性」

昨年12月に認可されたワクチンは、がん化に最も関連性のある16、18型の2つのタイプに対する2価ワクチンです。このワクチンは16、18型以外のいくつかのタイプにも予防効果があるとされていますが、すべての型はカバーできません。その予防効果は6～8割と報告者によってかなり違います。正確なことは①現行のワクチンを接種しても、既に感染が成立していれば16、18型のウイルスでも排除はできないこと、②従って接種時期は感染のまだ起こっていない学童期の女子が最適であること（推奨対象者は11～14歳）、③それでも“浸潤がん”になる人の2～4割は、ワクチンを接種した人が占めるということです。また接種後の長期効果については研究が進行中ということなど、判明していないことも沢山あります。

「おわりに」

予防ワクチンは集団的に施行しなければ効果がありませんが、このワクチンは3回の接種で約5万円と高額で公的補助が実現しなければ広く普及しないことは明らかです。またワクチンを投与しても2～4割は予防できないこと、既に感染していれば効果がないことから“がん検診”による早期発見は欠かせません。幸い「女性特有のがん検診推進事業」の一環として子宮頸がん検診の無料化が始まっていますので、ワクチンの正しい理解と同時に積極的に“がん検診”を受けてほしいと思います。

参考文献

共済医報、第40巻、第2号、1991年

日本医事新報、No. 4497、2010年

日本産科婦人科学会雑誌、第61巻、第8号、2009年

昼下がり、神戸サンチカのとある地下のジャズ喫茶店が“ジャズ”との最初の出会いです。室内は異常に暗く圧倒的な音量に翻弄され店外に脱出した時、太陽がやけに眩しく、鼓膜の消失感さえ覚えました。しかし大学生時代は偶々ジャズ志向の先輩や友人が多く、ジャズを耳にする機会に恵まれ？自然とジャズに馴染む様になり、ジャズ喫茶にも足を運ぶようになりました。写真は10数年前、ジャズ演奏店として有名なニューヨークのブルーノートのドアボーイと一緒に収まった写真です。その折、運のいいことに私の大好きな女性歌手の一人であるナンシー・ウィルソンの生演奏で内心“ラッキー”と叫んだものです。

ジャズはアフリカ系音楽と西洋音楽が融合した音楽で、演奏者が間を自在に操り自由な演奏を繰り広げます。聞く側も“音”に身を委ね素直に“音”を“楽しむ”、まさに“音楽”となって一体化します。ジャズの語源に関しては諸説あるようですが、もともとはフランス語の“jaser（元気をつけるという意味）”に由来とウィキペディア辞書に記されています。“元気をつける”ため？仕事部屋でジャズを流していますが“院内ジャズ喫茶”とよく揶揄されます。呑み物？はありませんが是非“院内ジャズ喫茶”まで足をお運び下さい。



ニューヨークのジャズ演奏店にて

「院外の患者さんへの栄養相談」のご案内

栄養科係長 ^{ごかひとみ}五家斐都美



管理栄養士による栄養指導風景

平成22年11月より、病診連携を通して院外の患者さんにも栄養相談・指導を御利用頂けるようになりました。私たちの生活は豊かになり、わが国は世界一の長寿国となりましたが、一方では食生活の乱れや運動不足があいまって「メタボリックシンドローム」が大きな社会問題となっており、栄養指導が重要になってきていると言われています。そこで私達は患者さんの食事の問題点や家庭環境などを考慮した上で、実行しやすく継続可能な栄養指導を行っていきたく思っております。これを通して健康増進、疾病の予防に寄与し、少しでも地域連携医療に貢献できればという気持ちで頑張っておりますので何卒宜しくお願い致します。

栄養指導を御希望の方は、かかりつけの先生を通して当院地域医療連携室に申し込んでください。来院日をかかりつけ医院にご連絡しますので紹介状を持ってお越しください。

お問合せ先は地域医療連携室まで 電話（代表）0956-22-5136（内線1158または1200）
FAX（直通）0120-12-2067

地域医療
連携室より

Part.
11



福田外科病院

〒857-0832 佐世保市藤原町38-3

TEL 0956-34-0151

院長 福田俊郎 先生

この度、地域医療連携室から依頼されましたので、当院の紹介をさせていただきます。

私の父は海軍軍医でしたが戦後、現在の福田内科（英彦）のところで開業しておりました。私も佐世保生まれで、佐世保南高校から日本医科大学へ進み、昭和44年に麻酔科大学院を卒業、昭和46年に長大1外科に入局、佐世保中央病院を経て昭和54年に現在地で福田外科病院（平成2年に医療法人）を開業しました。

当院は63床の小さな外科病院ですが、私と、谷口、田淵、島、の各Dr.は外科専門医を取得し、一般医療はもとより二次輪番病院として救急医療にも積極的に取り組んでおります。

いつも佐世保共済病院には、困った時や難しい症例を快く引き受けていただき感謝しております。

佐世保市ではがん検診、特定健診の受診率が低迷しています。当院でも昨年4月から特定健診をはじめとする企業健診も行っており、主に築山Dr.が担当して、乳癌、子宮癌検診もしております。当院が特許取得をした健診システム「健診オートボーイ」を用いて、健診者には当日結果の説明をして健診結果表をお持ち帰りいただいています。昨年からは日医のレセコン「オルカ」を導入し、健診オートボーイ・システムに連動した新しいオーダーリングシステムを構築

中で、独自の電子カルテの開発を目標にしています。健診は年間約5000件を行っており、昨年手術件数は約250件、救急搬送件数は494件でした。

さらに特別養護老人ホーム「やまずみ荘」を平成5年設立し、また平成12年には訪問看護ステーション「ふじわら」を併設して在宅介護・看護にも対応しています。

お時間があれば、当院のホームページをご覧ください。今後も、地域の皆様とは医療・福祉活動を通じさらに連携をとりながら取り組みたいと考えているところです。どうぞよろしくお願い申し上げます。



整えられた環境で効率的な健診が行われています。

年末年始の当直体制（平成22年12月29日～平成23年1月3日）

	当直			当直	
	8:30～17:30	17:30～翌8:30		8:30～17:30	17:30～翌8:30
平成22年12月29日（水）	内科	放射線科	平成23年1月1日（土）	内科・整形外科（二次待機）	
平成22年12月30日（木）	外科		平成23年1月2日（日）	眼科	内科
平成22年12月31日（金）	整形外科	麻酔科	平成23年1月3日（月）	外科	眼科

*産婦人科は連日待機しております。

編集後記

12月4日に東北新幹線全通、来年3月12日に九州新幹線全通と、日本列島の鉄道網の画期の時をむかえています。当院も、来年開院100周年の節目を迎え、新たな医療サービスの画期の年のはじまりとなるよう努力したいと思います。

編集委員 原 敬一

佐世保共済病院 外来診療担当表

平成22年12月1日現在

科	役職	医師名	月		火		水		木		金		備考(専門分野・特徴など)
			午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	
内科	部長	原口 総一郎	●						●				腎臓疾患・人工腎臓
	〃	金谷 誠司					●		●				循環器疾患
	部長代行	田中 實	●						▲		●		総合診療科・糖尿病・消化器内科 ▲:消化器センター診察日
	医長	樋口 泰雄	●		●				●				内科・神経内科・漢方・禁煙外来
	医員	金谷 晶子			●		●				●		腎臓疾患・一般内科
	〃	大塚 伸			●		●						腎臓疾患
	〃	斧沢 幸司	●						●		●		腎臓疾患
	非常勤医	田渕くみ子			●								循環器疾患
	〃	横山 晋二					●						循環器疾患
	〃	溝口 祐輔									●		呼吸器疾患
	〃	大野 聡子									●		循環器疾患
	〃	横山 哲也					●						呼吸器疾患
〃	原口 剛	●		●								循環器疾患	
〃	寺田 貴臣					●						循環器疾患	
消化器センター			●	●	●	●	●	●	●	●	●		(診療内容) 上部・下部消化管、肝・胆・膵疾患の検査及び治療 (検査内容) 胃カメラ、大腸ファイバー、ERCP、PTCD等
			井原	富崎	橋本	田中	井原						
外科	外科顧問	松永 章						●					消化器外科・内視鏡下外科・一般外科
	主任部長	井原 司					●	●					消化器外科・肝胆膵外科・内視鏡下外科・一般外科
	副部長	橋本 光生			●						●		消化器外科・一般外科
	部長	原田 洋			●						●		消化器外科・乳腺外科・一般外科
	〃	富崎 真一	●				●						消化器外科・内視鏡下外科・一般外科
	医長	坂下 英樹	●				●						血管外科・一般外科
	医員	石橋 慶章	●						●				消化器外科・一般外科
	〃	坂田 省三			●				●				呼吸器外科・一般外科
	非常勤医	光岡 正浩									●		呼吸器外科 (第1・3・5週のみ)
	〃	川畑 方博			●								肝胆膵外科・消化器外科・一般外科
〃	武田 雄二										●	呼吸器外科 (第2・4週のみ)	
乳腺外来			●	●	●	●	●	●	●	●	●		※乳癌検診は、10時までにて受付を行って下さい。(要予約)
			橋本	坂下	原田・坂田	原田	石橋						
小児科	部長	岡 尚記	●		●		●	●	●	●			小児一般、小児アレルギー疾患、気管支喘息
	乳児健診				●								火曜 午後1時から診察開始
	慢性外来						●						水曜 午後2時から診察開始
	喘息外来								●				木曜 午後2時から診察開始
脳神経外科	部長	川口 務	●		▲		●	●	●	●			脳神経外科 ▲は10時30分までに受付を行って下さい。
	頭痛外来(完全予約制)			●	●			●					月曜、水曜:午後2時30分~午後4時30分 火曜:午前11時~午後0時30分
整形外科	副院長	萩原 博嗣	●								●		膝・股関節疾患、人工関節置換術、骨折、スポーツ障害、小児整形外科
	部長	久我 尚之			●		●	●					脊椎外科、腰痛、骨・軟部腫瘍、骨折
	医長	花田麻須大	●				●	●	●	●			手の外科、マイクロサージェリー
	医員	水城 安尋			●		●	●	●	●			肩関節疾患、肩関節鏡視下手術、足部疾患
	〃	志田 義輝	●				●	●	●				整形外科一般
	〃	烏山 和之	●		●						●		整形外科一般
皮膚科	医長	大津 正和	●	●	●		●	●	●	●			アトピー性皮膚炎、接触皮膚炎、足白癬、帯状疱疹、皮膚腫瘍
	医員	多良 明子	●	●	●		●	●	●	●			男性型脱毛、陥入爪、ピアス、皮膚腫瘍手術(火・水・金の午後)
泌尿器科	診療部長	山田 潤	●				●				●		尿路結石、尿路生殖器腫瘍、排尿障害、尿路感染
	部長	江口 二朗	※		●				●		●		男性不妊(江口部長)▲の診察は10時30分からです
	医長	中村 貴生	※		●		●	▲					※:第2・4週(江口部長)第1・3・5週(中村医長)が診察を行います
産婦人科	院長	木寺 義郎	●						●				産科・周産期医療、不妊症・内分泌疾患
	部長	鶴地 伸宏	●		■		●	●	●				腹腔鏡下手術、更年期・婦人科疾患
	〃	木下 秀一郎			●		●	■		●			●:婦人科診療日 ■:産科診療日
	医員	佐藤 麻衣	●		●		●	●	●	■			▲は病棟回診後に診察開始のため遅れます
〃	田中 章子	●■		▲		●■			●				
眼科	医長	原 潤	●		●	※	●	※	●	●			白内障手術、緑内障手術、硝子体手術、網膜剥離手術、眼瞼下垂手術
	医員	岡村 寛能	●		●	※	●	※	●	●			翼状片手術、レーザー光凝固術、眼瞼痙攣のボツリヌス注射など ※:火・水曜の午後は術前検査と特殊再来(要連絡)
耳鼻咽喉科	医長	門田 英輝	●		●		●	●	●	●			アレルギー性鼻炎のレーザー治療・小児の耳鼻咽喉科疾患
	医員	垣内 康徳	●	●	●		●	●	●	●			耳・鼻・咽喉頭・頸部などの手術
放射線科	部長	野々下政昭	※検査・画像診断についてのお申し込み・お問合せは、外来までお電話下さい。									MRI、CT、RI、血管造影、超音波検査	
	医員	江畑 智広											
	〃	小佐々信介											
麻酔科	部長	深野 拓	●				●	●	●	●			月~金午前ペイン・緩和ケア外来
	医長	吉村 真紀	●		●				●				月~金午後は手術麻酔
	医員	木本 文子			●		●			●			
	非常勤医	別府 幸岐											
〃	志田知佳美												
歯科 口腔外科	医長	川村 英司	●	●	●	●	●	●	●	●	●		歯科・口腔外科(紹介患者のみ新患受付)
	医員	角町 鎮男	●	●	●	●	●	●	●	●	●		顎変形症(外科的矯正)・インプラント・歯牙移植・顎関節症・マウスピースなど
健診センター	医長	原 敬一	※お申し込み・お問い合わせは、健診センターまでお電話下さい。										